

法医学

ナンバリング M4-S1-C05

責任者・コーディネーター	法医学分野 高宮 正隆 教授		
担当講座・学科（分野）	法医学分野、救急・災害医学講座		
担当教員	高宮 正隆 教授、藤田 友嗣 講師、森川 剛 助教、 岩瀬 博太郎 非常勤講師		
対象学年	4	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義 16コマ 32.0時間
期間	前期		演習 0コマ 0.0時間 実習 6コマ 12.0時間

・学習方針（講義概要等）

医学に関わる法的・社会的問題を学び、公衆衛生、社会福祉、人権の保護に貢献する。

・教育成果（アウトカム）

医学に関わる法的・社会的問題を理解することでの確な事例対応ができるようになる。

(ディプロマ・ポリシー: 1,2,3,4,5,6,7,8)

・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	法医学が果たすべき社会的役割について説明できる。
2	生活反応、死後変化を説明できる。
3	損傷の成因、所見を説明できる。
4	窒息所見および死に至る機序を説明できる。
5	異常環境死の所見を説明できる。
6	突然死、内因性急死の医学的・社会的問題について説明できる。
7	異状死体の死因検索法、法的取り扱いについて説明できる。
8	個人識別および遺伝的多型について説明できる。
9	法医中毒学に対する基礎的知識を説明できる。
10	法歯学に対する基礎的知識を説明できる。
11	虐待について説明できる。
12	死後画像診断について説明できる。

・ 講義場所

講義：東1-D講義室 実習：西2-A実習室

・ 講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標番号	事前事後学修/ICT
講義	4/6(月)	1	法医学分野	高宮 正隆 教授	法医学総論	1,7	<p>【事前学修】 教科書で法医学の定義を確かめる。 法医解剖の種類を表にしてまとめる。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ法医解剖の種類について、その根拠法に当たる。法医解剖の種類を表にまとめておく。所要時間 60分以上</p> <p>【ICT】 WebClass</p>
講義	4/6(月)	2	法医学分野	高宮 正隆 教授	死体現象	2	<p>【事前学修】 早期死体現象と後期死体現象について教科書を読み説明文を作成する。 所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で学んだ死体現象について機序や発現時期について200字程度でまとめる。所要時間 60分以上</p> <p>【ICT】 WebClass</p>
講義	4/15(水)	1	法医学分野	高宮 正隆 教授	内因性突然死	6	<p>【事前学修】 教科書で内因性突然死に該当する部分を読み説明文を作成する。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で配布したプリントを見直し、内因性突然死について分類し200字程度でまとめる。所要時間 60分以上</p> <p>【ICT】 WebClass</p>
講義	4/15(水)	2	法医学分野	高宮 正隆 教授	損傷-1	3	<p>【事前学修】 「創と傷」の定義で教科書を読んで説明文を作成する。 「創口」などの名称を理解する。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 「創と傷」の定義をまとめる。創を図示して名称書く。所要時間 60分以上</p> <p>【ICT】 WebClass</p>
講義	4/20(月)	1	法医学分野	高宮 正隆 教授	損傷-2	3	<p>【事前学修】 鈍器損傷、鋭器損傷について教科書を読み説明文を作成する。所要時間30分以上</p> <p>【事後学修】 損傷を見て鑑別できるようにする。所要時間 60分以上</p> <p>【ICT】 WebClass</p>

講義	4/20(月)	2	法医学分野	高宮 正隆 教授	銃創	3	<p>【事前学修】 教科書で銃創に該当する部分を読み説明文を作成する。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 講義で配布するプリントを見直し、銃創について200字程度でまとめる。所要時間 60分以上</p> <p>【ICT】 WebClass</p>
講義	4/27(月)	1	法医学分野	高宮 正隆 教授	窒息-1	4	<p>【事前学修】 窒息の定義と種類について教科書を読み説明文を作成する。所要時間30分以上</p> <p>【事後学修】 窒息の分類について表を作成する。機序について200字程度でまとめる。所要時間 60分以上</p> <p>【ICT】 WebClass</p>
講義	4/27(月)	2	法医学分野	森川 剛 助教	法医中毒学-1	9	<p>【事前学修】 薬毒物、中毒の定義、薬毒物の分類、起源 薬毒物分析の流れとスクリーニング法についてどのようなものがあるか教科書を読んで理解し、箇条書きにする。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 薬毒物、中毒の定義、分析法、剖検試料の取り扱い、医薬品等の中毒についての概略をまとめること。所要時間 60分以上</p> <p>【ICT】 WebClass</p>
講義	5/13(水)	1	法医学分野	高宮 正隆 教授	窒息-2	4	<p>【事前学修】 致死的頸部圧迫の定義と種類について教科書を読み説明文を作成する。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 頸部圧迫の種類について表にまとめる。所要時間 60分以上</p> <p>【ICT】 WebClass</p>
講義	5/13(水)	2	法医学分野	森川 剛 助教	法医中毒学-2	9	<p>【事前学修】 一酸化炭素、硫化水素、エタノール、自然毒、有機リン系農薬について教科書等を読んで、中毒症状、機序、分析法等について説明文を作成する。所要時間 30分以上</p> <p>【事後学修】 一酸化炭素、エタノール、硫化水素、自然毒、農薬中毒の概略についてまとめること。所要時間 60分以上</p> <p>【ICT】 WebClass</p>

講義	5/20(水)	1	法医学分野	高宮 正隆 教授	異常環境による外因死	5	【事前学修】 教科書で異常環境死に該当する部分を読み説明文を作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 講義で配布したプリントを見直し、異常環境死について分類し200字程度でまとめる。所要時間 60分以上 【ICT】 WebClass
講義	5/20(水)	2	法医学分野	岩瀬 博太郎 非常勤講師	死後の画像診断	12	【事前学修】 死後画像診断の定義と種類について教科書を読み説明文を作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 死後画像診断が機器により得意・不得意な疾患につき表にまとめる。所要時間 60分以上 【ICT】 WebClass
講義	5/27(水)	1	法医学分野	高宮 正隆 教授	個人識別と硬組織	8,10	【事前学修】 「個人識別」について教科書を読んで定義の説明文を作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 骨における性別の違いを表にまとめる。所要時間 60分以上 【ICT】 WebClass
講義	5/27(水)	2	法医学分野	高宮 正隆 教授	嬰兒殺・児童虐待	11	【事前学修】 教科書で嬰兒殺・児童虐待に該当する部分を読み説明文を作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 講義で配布したプリントを見直し、児童虐待について分類し200字程度でまとめること。所要時間 60分以上 【ICT】 WebClass
講義	6/3(水)	1	法医学分野	高宮 正隆 教授	血液型	8	【事前学修】 血液型やその他の多型に関して自分が理解できる説明文を作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 ABO式血液型の生化学的特徴および検査結果の解釈をまとめる。所要時間 60分以上 【ICT】 WebClass
講義	6/3(水)	2	法医学分野	高宮 正隆 教授	DNA型	8	【事前学修】 DNA多型の種類や特徴に関して自分が理解できる説明文を作成する。所要時間 30分以上 【事後学修】 DNA多型の検査法をまとめる。所要時間 60分以上 【ICT】 WebClass

実習	5/11(月)	3	法医学分野	高宮 正隆 教授	前班-1 死亡診断書・死体検 案書作成	1,7	【事前学修】 厚労省ホームページより死 亡診断書記入マニュアルを ダウンロードして読んでお く。所要時間 30分以上 【事後学修】 死亡診断書・死体検案書の 書き方の要点をまとめる。 所要時間 30分以上 【ICT】 WebClass
実習	5/11(月)	4	法医学分野	高宮 正隆 教授	前班-1 死亡診断書・死体検 案書作成	1,7	【事前学修】 厚労省ホームページより死 亡診断書記入マニュアルを ダウンロードして読んでお く。所要時間 30分以上 【事後学修】 死亡診断書・死体検案書の 書き方の要点をまとめる。 所要時間 30分以上 【ICT】 WebClass
実習	5/11(月)	5	法医学分野	高宮 正隆 教授	前班-1 死亡診断書・死体検 案書作成	1,7	【事前学修】 厚労省ホームページより死 亡診断書記入マニュアルを ダウンロードして読んでお く。所要時間 30分以上 【事後学修】 死亡診断書・死体検案書の 書き方の要点をまとめる。 所要時間 30分以上 【ICT】 WebClass
実習	5/12(火)	3	法医学分野	高宮 正隆 教授	後班-1 死亡診断書・死体検 案書作成	1,7	【事前学修】 厚労省ホームページより死 亡診断書記入マニュアルを ダウンロードして読んでお く。所要時間 30分以上 【事後学修】 死亡診断書・死体検案書の 書き方の要点をまとめる。 所要時間 30分以上 【ICT】 WebClass
実習	5/12(火)	4	法医学分野	高宮 正隆 教授	後班-1 死亡診断書・死体検 案書作成	1,7	【事前学修】 厚労省ホームページより死 亡診断書記入マニュアルを ダウンロードして読んでお く。所要時間 30分以上 【事後学修】 死亡診断書・死体検案書の 書き方の要点をまとめる。 所要時間 30分以上 【ICT】 WebClass
実習	5/12(火)	5	法医学分野	高宮 正隆 教授	後班-1 死亡診断書・死体検 案書作成	1,7	【事前学修】 厚労省ホームページより死 亡診断書記入マニュアルを ダウンロードして読んでお く。所要時間 30分以上 【事後学修】 死亡診断書・死体検案書の 書き方の要点をまとめる。 所要時間 30分以上 【ICT】 WebClass

実習	5/18(月)	3	法医学分野 法医学分野 救急・災害医学講座	高宮 正隆 教授 森川 剛 助教 藤田 友嗣 講師	前班-2 薬毒物検査	9	【事前学修】 実習書を読み、実習方法、内容について理解する。設問について考える。シアン化合物、一酸化炭素中毒、重金属中毒、農薬中毒、医薬品中毒について講義のプリントを見て復習する。所要時間 30分以上 【事後学修】 実習の結果を実習書に記載して、設問の答えを確認し、理論などをまとめる。所要時間 30分以上 【ICT】 WebClass
実習	5/18(月)	4	法医学分野 法医学分野 救急・災害医学講座	高宮 正隆 教授 森川 剛 助教 藤田 友嗣 講師	前班-2 薬毒物検査	9	【事前学修】 実習書を読み、実習方法、内容について理解する。設問について考える。シアン化合物、一酸化炭素中毒、重金属中毒、農薬中毒、医薬品中毒について講義のプリントを見て復習する。所要時間 30分以上 【事後学修】 実習の結果を実習書に記載して、設問の答えを確認し、理論などをまとめる。所要時間 30分以上 【ICT】 WebClass
実習	5/18(月)	5	法医学分野 法医学分野 救急・災害医学講座	高宮 正隆 教授 森川 剛 助教 藤田 友嗣 講師	前班-2 薬毒物検査	9	【事前学修】 実習書を読み、実習方法、内容について理解する。設問について考える。シアン化合物、一酸化炭素中毒、重金属中毒、農薬中毒、医薬品中毒について講義のプリントを見て復習する。所要時間 30分以上 【事後学修】 実習の結果を実習書に記載して、設問の答えを確認し、理論などをまとめる。所要時間 30分以上 【ICT】 WebClass
実習	5/19(火)	3	法医学分野 法医学分野 救急・災害医学講座	高宮 正隆 教授 森川 剛 助教 藤田 友嗣 講師	後班-2 薬毒物検査	9	【事前学修】 実習書を読み、実習方法、内容について理解する。設問について考える。シアン化合物、一酸化炭素中毒、重金属中毒、農薬中毒、医薬品中毒について講義のプリントを見て復習する。所要時間 30分以上 【事後学修】 実習の結果を実習書に記載して、設問の答えを確認し、理論などをまとめる。所要時間 30分以上 【ICT】 WebClass

実習	5/19(火)	4	法医学分野 法医学分野 救急・災害医学講座	高宮 正隆 教授 森川 剛 助教 藤田 友嗣 講師	後班-2 薬毒物検査	9	【事前学修】 実習書を読み、実習方法、内容について理解する。設問について考える。シアン化合物、一酸化炭素中毒、重金属中毒、農薬中毒、医薬品中毒について講義のプリントを見て復習する。所要時間 30分以上 【事後学修】 実習の結果を実習書に記載して、設問の答えを確認し、理論などをまとめる。所要時間 30分以上 【ICT】 WebClass
実習	5/19(火)	5	法医学分野 法医学分野 救急・災害医学講座	高宮 正隆 教授 森川 剛 助教 藤田 友嗣 講師	後班-2 薬毒物検査	9	【事前学修】 実習書を読み、実習方法、内容について理解する。設問について考える。シアン化合物、一酸化炭素中毒、重金属中毒、農薬中毒、医薬品中毒について講義のプリントを見て復習する。所要時間 30分以上 【事後学修】 実習の結果を実習書に記載して、設問の答えを確認し、理論などをまとめる。所要時間 30分以上 【ICT】 WebClass

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教科書	標準法医学 第8版	池田典昭 / 木下博之	医学書院	2022
参考書	法医学 改訂4版	福島弘文 / 舟山真人 / 齋藤一之	南山堂	2022
参考書	NEWエッセンシャル法医学 第6版	高取健彦 / 長尾正崇	医歯薬出版	2019
参考書	臨床中毒学	相馬一玄 / 上條吉人	医学書院	2009
推薦図書	虫から死亡推定時刻はわかるのか?	三枝聖	築地書館	2018

・成績評価方法

【総括評価】

進級試験成績（100％）で評価し、100点満点の60点以上を合格とする。

【形成的評価】

小テストを実施して講義内容の理解度を確認し、その結果を学生にフィードバックする。

到達目標	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1～12	1～8				100			100
合計					100			100

・特記事項・その他

講義：

1. 法医病理学
2. 法医中毒学
3. 法医遺伝学

実習：

1. 薬毒物検査

青酸・金属化合物の予試験、農薬の定性試験、血液中の一酸化炭素検出、乱用薬物スクリーニング

2. 死亡診断書・死体検案書作成

シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。

講義資料はWebclassで配信する。

本科目では、事前事後学修以外に780分の自己学修を要す。

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・教育資源

教科書・参考書、講義室、実習室、シミュレーション検体

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
実習	分光光度計	2	薬毒物検査
実習	ヒートブロック	1	薬毒物検査
実習	ドラフト	1	薬毒物検査
実習	電子天秤	1	薬毒物検査用試料の作製
実習	タッチミキサー	1	薬毒物検査用試料の作製
実習	超音波洗浄機	1	薬毒物検査用試料の作製
実習	遠心分離機	1	薬毒物検査用試料の作製
実習	多数死体対応シミュレーションキット	10	多数死体対応シミュレーション
実習	ホワイトボード	5	多数死体対応シミュレーション
講義	ノートパソコン lifebook	1	講義